



たまたて箱 2月号

February 2024
No.232

子育て支援事業や活動を応援する、
エコロフアンドを活用した基金は?

ヒントは紙面に 応募要項は8ページ
抽選で2名様にすてきな消費材のプレゼントがあります!

組合員数 15,133人 (2023年11月末) 加入者数 902人 (2023年度累計) 脱退者数 968人 (2023年度累計) 総利用高 35,167,508円 (12月配送) 世帯当り 24,071円 (12月配送) (12月25日現在)



まち・小平 組合員

こめや食品(株) 川崎さんへ

家族、特に子どもがこめや食品のかまぼこが大好きです。いつも副菜として利用していますが、ちょっと珍しいレシピなどあったらぜひ知りたいです!また、人に伝える時にきちんと魅力を伝えたいので、他との違いやこだわり、ピンクやオレンジの着色の秘密などありましたら教えてください。

こめや食品(株) 川崎さんの とっておき♥レシピ



消費材で使用しているぐちは蒲鉾では高級原料です。その食感をより引き出すため、大きなすり鉢状の石臼を使い昔ながらの製法で時間をかけ丁寧に搗りあげています。当初は生活クラブの基準に合う着色料が無く、生活クラブ・こめや食品・伏見蒲鉾で協力して「にんじん」による着色を開発しました。その後、紅麴使用のピンク色の蒲鉾も組合員の声から生まれました。この紅麴は生活クラブ基準のため、色を安定させる添加物が入っておらず太陽光などで色が分解される非常に繊細な色。退色して“白板”みたいになってしまいます。消費材は組合員が「共同購入」で利用しているので利用価格は非常にお得です。その理由は、生産者交流会で詳しく。



こめや食品(株)
かわさきこういちろう
川崎光一郎

かまぼこサンドイッチ

- 材料
- ・サンドイッチに使用出来るパン(食パン)
 - ・かまぼこ
 - ・焼き海苔
 - ・マヨネーズ
 - ・わさび(好みで)
 - ・醤油
 - ・バター(又はマーガリン)

- 作り方
- ①かまぼこを薄く切る(3~5mm)
 - ②パンにバターを塗る
 - ③(ここはお好みです)マヨネーズとわさびを混ぜ、わさびマヨソースを作る
 - ④その上に切ったかまぼこ、焼き海苔を乗せ、マヨネーズを塗る。そこに少し醤油を垂らし挟みます。



多摩きたSNSでも詳しく紹介中

多摩きた生活クラブ 〒189-0024

発行責任者 磯嶋 志保子 東村山市富士見町3-29-6

TEL 042-395-5002

FAX 042-395-3833

小平センター
東村山センター
青梅センター

TEL 042-452-9797

月曜日~金曜日 9:00~19:00



多摩きたInstagram 多摩きたFacebook 多摩きたイベント

デポー国分寺

国分寺市泉町3-33-5

TEL 042-359-5160

デポー東村山

東村山市久米川町3-32-44

TEL 042-399-7151

デポー西東京

西東京市泉町3-12-25

TEL 042-439-7780

■開店時間 10:30~19:00

■定休日 毎週水曜日



エコロ子ども基金を知っていますか？

～子どもたちのための地域の活動と私たちにできる支援～

まちの縁が本町 (東村山市)



子ども弁当配布 毎週木曜日。18歳以下無料
1回10食分。事前予約制
夕暮れ食堂 月2回開催。子ども無料、大人300円
15～18食用意。事前予約なしでもOK

東村山生活者ネットワークの代理人(市議会議員)のつながりで、困っている子にお弁当のお届けと、夕暮れ食堂を始めました。

困っている子どもに届くといいなと思いながら、老体にムチ打ってやっています(笑)エコロ子ども基金からの助成やデポからの食料支援、東村山市の社会福祉協議会からの寄付など、自分たちだけでなく他の人も気持ちを寄せてくれていると思うからできています。

(スタッフのKさん)



子ども食堂を開催している団体



取材の日のメインは肉じゃが♪

デポ-東村山から、消費期限が近くなった肉や魚、野菜の提供があり、とても助かっています。

もくもく 木・々 子ども食堂 (西東京市)

月1回開催。18歳以下無料
その他週2回宿題ルーム

カサムシカ子ども食堂 (国立市)

毎週土曜日開催
18歳以下無料

エコロ子ども基金とは

生活クラブ東京独自の基金で、都内で子どもや子育て家庭の支援を伴走型で行なう団体の活動や事業を応援し、子育て子育てに身近な人たちが伴走する地域の実現をめざすものです。

詳細・募集要項は生活クラブ東京WEBサイトでご確認ください。

エコロ子ども基金について
詳しくはコチラ⇒



エコロたすけあい制度について
詳細はコチラ⇒



エコロ子ども基金の原資は？

生活クラブ東京の組合員が加入しているエコロたすけあい制度の毎月100円の掛け金のうち20円分がエコロファンドとして積み立てられていますが、その一部を活用しています。

日本では、子どもの7人に1人が貧困状態(一般的な家庭よりも教育や体験の機会に乏しく、地域や社会から孤立し、さまざまな面で不利な状況に置かれる)にあるとされています。

生活クラブには、地域の中で子ども食堂などに取り組んでいる組合員がいて、その活動を支援するしくみがあります。

エコロたすけあい制度から生まれた「エコロ子ども基金」もその一つ。多摩きたエリアで活動している団体とその様子を紹介します。

たまりば☆めくめく (昭島市)



子ども食堂(料理教室)と食料配布
月1回。公式LINEに登録後、申込制。

「子ども自身が自分のご飯が作れることが自立した生活につながる」と、地域協議会の中で子どもの料理教室をやりたいね、と話し合っていた矢先にコロナ禍に。食料配布と子ども食堂をはじめました。「支援を受けている人が行くところ」という周囲の視線が子どもの心に傷を残さないように、いろいろな人が出入りする場でありたいと思っています。準備から後片付けまで参加者も含めてみんなでやっています。

(スタッフのSさん)



ひとり親で子育てをしている方が「子どもと二人きりじゃないこの時間が必要」と言っていたそうです

子どものための活動をしている団体

あきる野にぼうけん遊び場をつくる会 (あきる野市)

プレーパークと交流会の開催

清瀬こども劇場 (清瀬市)

子どもを真ん中に自由交流できる多世代の地域の居場所

ころころパーク (あきる野市)

こどもも大人も安心して過ごせる居場所づくり

組合員の声を反映しながら

エコロ子ども基金の審査会には東京の4ブロックから2人ずつ審査委員として出席していて、基金の活用についても随時話し合い、なるべく多くの困っている団体が活用しやすいように内容の見直しを行っています。

声を聞いて変わったよ!

まちづくり委員会では、2021年に組合員が関わっている子ども食堂の団体にアンケートを実施しました。その中で多くの団体に共通していたのは、「さまざまな寄付があっても食材費が足りず、主催者の持ち出しになる場合がある」ということ。生活クラブ東京全体でもそのような課題が多く聞かれ、食材費もエコロ子ども基金の補助金申請の対象となりました。

実際に自分で活動することができなくても、毎月100円のエコロを続けることが地域で活動している人の助けになっています。そして、自分自身が活動を立ち上げようと思ったとき、ぜひエコロ子ども基金の活用を考えてみてください。



消費材をおおぜいで利用するために

…生活クラブのパン政策…



■パンは生活クラブ東京の独自品

生活クラブのパン、食べていますか？
生活クラブ東京の配送では主に2生産者によって作られる
おいしく、安心して食べられるパンを共同購入しています。

（株）オルタフーズ

- ・国産小麦粉、鶏卵、牛乳、真塩などできる限り消費材を使用。
- ・他の原材料は、表示義務のないキャリーオーバーまで追求し、素性を確かめた上で使用。
- ・イーストフードや保存料などの添加物は使わず、小麦の風味を生かす製法で製造。
- ・原材料から製造工程まで、すべて明らかに。

（有）ザクセン

- ・国産のものがあれば国産原料、国産のものがなければ外国産オーガニック、外国産オーガニックもない場合は、そのパンの必要性をもう一度考える、という方針。
- ・国産原料は小麦粉、小麦全粒粉、砂糖、酵母、食塩など。
- ・マーガリンは消費材を使用。

パンには、「焼きたてがおいしい = 賞味期限が短い」という特性があります。
生活クラブ東京の配送では 地域限定の取組み として
(株)オルタフーズと(有)ザクセンのパンを扱っています。
これらは **生活クラブ東京の「パン政策」** をもとにすすめてきました。

「パン政策」って？

生活クラブは、消費材ごとに政策をもって生産者と提携し、消費材を作っています。一般市場の課題や問題をどのように解決し、安心できる食材を組合員に届けるのか、どのように組合員が利用していくか、提携生産者と協力して国内の食料自給率を高めていくかなどをまとめたものが消費材政策で、「パン政策」の他に、「牛乳政策」「米政策」「食肉政策」「豆腐政策」もあります！



■「第3次パン政策」に向けて…

これまでのパン政策

- ・2002～2003年 第1次パン政策 牛乳便での冷蔵取組スタート
- ・2013年 第2次パン政策 配達便での常温取組スタート

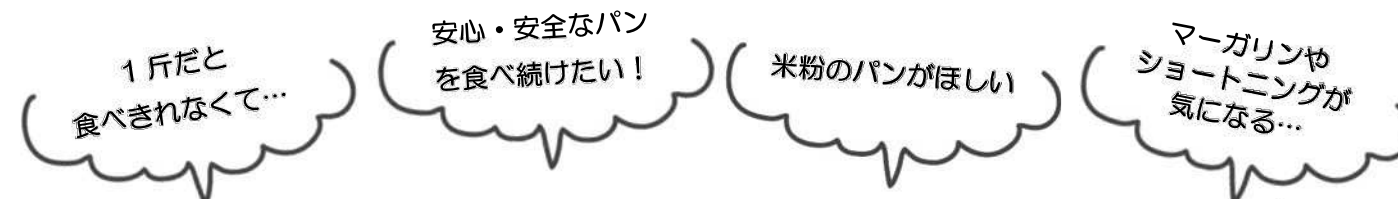
利用状況を確認しながら約10年ごとに見直している「パン政策」。第2次パン政策から約10年経った2022年末より東京4ブロックの組合員リーダーと事務局が集まって、第3次パン政策策定に向けてプロジェクトが発足。

パンの一般市場の最新動向についてマーケティングコンサルタントの話を聞いたり改めて生活クラブのパンについてオルタフーズの学習会をしたり。その上で生活クラブのパンが目指すべきところはどこか…利用しやすいパンの取組みは何か…メンバーで意見交換をし、組合員アンケートも実施しました。

多摩きたからも利用担当理事2名が参加しました

■「第3次パン政策」誕生

パンの利用状況を確認するために2022年の年末に行ったアンケートやeくらぶの口コミからはこんな声が寄せられました。



家族構成の変化やアレルギー対応、原材料に至るまで要望は多様でした。
様々な意見を踏まえて配送という制限がある中で優先して取り組むのは
『**主食として飽きずに安心して食べ続けられるパン**』

第3次パン政策の内容一部解説！

米粉パン

要望は多かったのですが現状の生産者の設備では難しいことからすぐには着手できそうにありませんが、第3次パン政策の中には新規品の開発が課題として盛り込まれています。

マーガリン、ショートニング

トランス脂肪酸を心配する声が多いですが、バターに含まれるトランス脂肪酸より低いものを使用していることをもっと周知できるように広報も工夫することが話し合われました。今後特集記事を掲載予定です！

小容量化

アンケート調査で要望の多かった小容量化。すぐできそうなこととして昨秋から食べきりサイズの食パン（3枚入り）がスタートしています！6枚スライスのハーフサイズです。



国産小麦食パン3枚 (株)オルタフーズ

220g 210円 (税込227円)
予約もできます

2023年10月
新登場

【原材料】小麦粉（小麦（国産））、砂糖（さとうきび（国産））、ショートニング（国内製造）、麦芽糖、パン酵母、食塩、酢

市場ではパンの購入金額が年々上昇している一方、生活クラブのパンの利用は厳しい状況です。組合員でも、手軽に購入できる地域のパン屋さんなどで市販のパンを利用することが多くなっています。組合員の希望に沿ってつくられた消費材のパンを食べ続けられるように、おおぜいの組合員が利用しやすくしていくための「第3次パン政策」。3枚入りで食べきりサイズになったので、朝食がパンなら予約して週1回は生活クラブの食パンを利用してみてくださいね。お米メインならおやつパンもオススメです☺



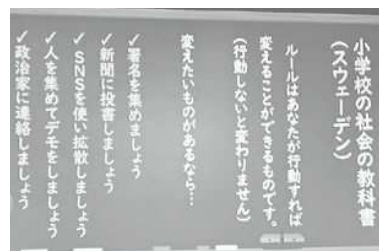


企画 REPORT



まちづくり

谷口たかひさ氏 お話し会 in 小平



開催日：10/13(金)
会場：ルネこだいら
参加者：42人

世界で活躍する環境活動家、谷口たかひさ氏から気候危機について教えていただきました。実際に撮影した動画やスライドで今起きている気候変動の原因や被害がよくわかりました。「気候変動によって私たちが失うのは“自然”ではなく“平和”。だから気候変動に関して人は“無関心”ではいられても“無関係”ではいけない」という言葉がとても突き刺さりました。谷口氏が環境活動家になったきっかけは「子どもたちの前でやれることはすべてやった！とりたい」という思い。その決意の固さに皆が背中を押されていました。一番ギャップを感じたのは、スウェーデンの小学校の社会の授業…ルールはあなたが行動すれば変えることができるものです。変えたいものがあるなら、署名を集める、新聞に投書する、人を集めてデモをする、政治家に連絡するなど具体的な方法を習うこと。羨ましく思うと同時に一つの道標になりました。(U)

谷口さんの国連でのスピーチ動画→
「1人の100歩より100人の1歩」
生活クラブと同じ考え方です。



デポー 国分寺

19周年まつり



開催日：10/20.21.22
来所数：250人(金)
380人(土)
400人(日)

お楽しみが盛りだくさんの周年まつり。連日多くの組合員で賑わいました。金曜日は平田牧場による肉の切り分けがあり、料理に使いやすく準備されたお肉や好きな部位を選んで買えました。タイハイの試食はゆずぼん酢の肉野菜炒め。簡単で美味しいと人気でした！土曜日は3生産者の試食を集会室で開催。ニューオークボ直営店のシェフが作る各種の生パスタアレンジが試食でき、どれも美味しかったです！スリーエイトからはミツバチ(社員)も来所♪働いている様子も見る事ができました！東京カリントのミニリングドーナツにスリーエイトのはちみつが使われていることを知り、味わい深い試食となりました！日曜日はお楽しみ抽選会と子どもイベントで集会室がハロウィン色に早変わり。おばけの射的や店内のおばけを探して言葉を完成させるワードラリーも子どもたちに人気でした！(U)



ちょっと知りたいQ&A

ケア金の申請はこちら→

[生活クラブ東京 エッコロたすけあい制度]で検索！



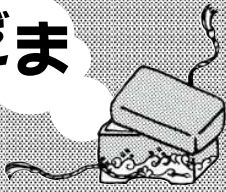
Q エッコロたすけあい制度を使って子どもをみてもらいたいのですが・・・

A 組合員のお友だちがいる場合は自分でケアを依頼します。お友だちの都合が見つからない場合はコールセンターに連絡してください。



裏表紙の意見・感想用紙で
質問も大募集！

こ 呼だま



11月号の応募用紙で
いただいた感想より

生活クラブの明太子はとっても好きで、無添加の明太子はみたことがなかったのでよく購入しています。明太マヨネーズは作ったことがなかったので、作ってみたいですね。循環型の農業がもっと増えてほしい。無農薬にするのは難しいと思いますが、今後そうなるにはどうなればいいのか、消費者の意識が大事だなと読んで感じました。

まち・国分寺 磯 茜さん

遊YOU米は循環型農業で育てられているんですね。安心して食べるのでできるお米なのを知りました。手間をおしまない米作りはすばらしいです。これからも続けていってほしいです。

まち・きよせ 長澤 千恵子さん

良質な食材で作る手料理「ピオサボレシビ」に助けられています。目先を変えると家族も喜んで食べてくれるのがなにより嬉しいです。これからも、アイデアレシビを期待しています。

まち・あきるの 星野 美江さん

ご意見・ご感想をお待ちしております。
巻末の用紙に書いて、提出してください。

【賃貸でも集合住宅でも!!】

くらぶ家のイムラヨウコの人々



理事の つぶやき



2023年を振り返ってみると、酷暑や台風など天候不順でお米も野菜も生育や収穫に影響が出ました。夏頃「こんな暑さで野菜とかちゃんと育ててるのかな?」と心配していたことが現実になりました。注文した人参やブロッコリーが2,3週連続で欠品に。あっぱれはればれ育ち野菜4点セットを予約しているけど、毎回入っている生産者からのコメントを読んで本当に苦労されているのが分かり、どんな野菜でも連続で同じ野菜が届いてもありがたく感じた1年でした。生産者の方々は予約があるから、大雨などで野菜がほとんどダメになってもまた頑張ってくれています。みなさん、野菜もお米も予約してください!

しおざわ みかこ
まちづくり/まち・小平担当 塩澤 美香子

2024年度機関紙 「たまたま箱」モニターを 募集します!



2023年12月オンラインでの
モニター交流会の様子

- ◇「たまたま箱」に関するご意見・感想をお聞かせください。
- ◇期間：2024年5月～1年間(図書カードのお礼あり)
- ◇内容：月に1回のアンケート提出とモニター交流会(年1回予定)があります。
- ◇応募者多数の場合は抽選となります。モニター登録希望の方は、最終ページの応募用紙に記入して提出してください。(チェック欄があります)
- ◇応募締め切りは3月1日(金)。

編集後記

子どもが小さい頃はエコロたすけあい制度を利用して預け合いをしていた。途中からエコロがなくても預け合う関係になった。小学校に入っても、自分が風邪をひいた時、子どもの習い事の送迎を頼んだり、いざというときに助かった。今は日常的に使うことはなくなったが、毎月の100円が他の組合員のケアだけでなく地域の子ども食堂などの役にも立っていて、みんなの100円のパワーを感じる。1人の100歩より100人の1歩♪

うのき ちひろ
宇野木 千尋

おでかけ♪ たまちゃん!!

go!



デポー東村山の裏 スーユンタンの「しげんカフェ」を見てきたニャ

中に入ると古紙や衣類、段ボール、棚には本がたくさん積んであったニャ。これは全部、組合員が持ってきたものなんだから。重さに応じてポイントがもらえて、デポー東村山で使える100円券に交換するしくみの「しげんカフェ」をやっているよ。コロナ前はそのポイントでコーヒーが飲める企画をしていたのが名前の由来ニャ。古本は1冊1冊チェックして、売れそうなものをネットに出品、希少価値のあるものは古本屋に持っていったり、どこにリユースすると本が「長生き」するか考えながら分別していてすごいニャ。「古紙や缶は自治体に出すと税金が使われてしまうけど、民間でやれば額は少ないけど買い取ってもらえる。たくさん持ってきてくれる、さすが組合員！」とスタッフの菅さん。持ってきてもらうことで税金も節約してるんだね!



ワーカーズコレクティブ スーユンタン

■住所:東村山市久米川町3-32-44 ■TEL/FAX:042-306-2442

「しげんカフェ」受付:月・火・土・日 10:30 ~ 16:00 (日曜日はポイント2倍)

クイズの応募要項

下の応募用紙に「今月のクイズ(表紙右上)」の答えと、今月号の感想、必要事項を明記の上、ご応募ください。
正解者の中から抽選で2名の方に消費材をプレゼント♪

提出先

- ◆配送センター(配達便) ◆デポー店頭(レジ)
- ◆多摩きたブロック FAX:042-395-3833
- ◆WEBサイト「応募フォーム」⇒



当選者発表

おめでとうございます

まち・小平 枝並 真祈恵さん
まち・あきしま 薊 京子さん

【11月号のクイズの答え】

- Q. 子育て広場の立ち上げ補助などに使われる生活クラブ独自の仕組みは?
A. エッコロたすけいあい制度

クイズ応募&意見・感想用紙

たまたま箱2月号

※締切 3月1日(金)

◇表紙クイズの答え ()

★必ずご意見・ご感想をお書きください。

ご意見・ご感想は、「たまたま箱」に、まち名とフルネームで掲載させて頂くことがあります。その際、文意の変わらない範囲で字句修正する場合がございます。ご了承ください。

たまたま箱モニター登録希望 モニター希望の方は に✓を入れてください。別途、ご連絡します。

まち名 () お名前 () TEL ()

組合員コード () 班・個配・デポー (いずれかに○)

メールアドレス () @ ()

生活クラブメールマガジン配信希望する

*記入していただいた個人情報については組合員活動の目的以外には使用しません。